

「指導例」を有効に活用した単元構成のアイデア

学年・単元名

第1学年 「話題をとらえて話し合おう バズセッションをする」(光村図書)

単元構想

指導例「若者言葉～言葉について考える～」を取り入れて

※毎時のはじめに「論理的思考を鍛えることのは」(ミニドリル)を行う。

第一次

よい話し合いとは何かについて意見交換する。

1

学習全体の見通しをもつ。

論理的思考とは何かを「きのこVS.たけのこ論争」(自作映写資料)で確かめる。

バズセッションという話し合いの形式を知る。

教科書掲載の課題「敬語」をテーマに選ぶ。

2

自分の考えをもつとともに、その根拠を整理する。

司会・記録・報告等の役割やメモの取り方について学習し、グループごとに担当者を決める。

留意点を確認し、ミニ・バズセッション体験をする。

3

ミニ・バズセッションを振り返り、課題を整理する。

本時

指導例「若者言葉～言葉について考える～」

4

全体の進め方を確認する。

資料「若者言葉」をもとにバズセッションをする。

グループごとに報告をする。

5

バズセッションを振り返り、課題を整理する。

第二次



押さえない指導のポイント

- 文脈をとらえさせ、その中で言葉の意味を考えさせる。
- グラフの情報を正確に読み取らせる。
- 交流によって自分の考えの理由を述べさせる。
- 条件に合わせて書くことが大切であることを確認する。